

中東から世界が見える

著：酒井啓子 岩波ジュニア新書 2014年出版

180781179 遠藤幹也

本書の目的

- 本書では、**イラク**戦争が引き金となった「**アラブの春**」を解説
- **イラク**戦争とは
- アラブでは起きないとされていた**民主化**がなぜ起きたのか
- **イラク**戦争から「**アラブの春**」へ
- 「**アラブの春**」とは

イラク戦争とは

- 2003年、**イラク** vs **アメリカ**を中心とした有志連合が行った戦争



イラク戦争とは



イラク戦争の根本はフセイン政権の打倒



- まず、テロ組織「アル・カイーダ」を匿うタリバン政権を攻撃
- タリバン政権崩壊後、イラクのフセイン政権へ国外退去を要求
- イラクはこの要求を拒否

→イラク戦争の勃発

イラク戦争とは

結果→有志連合軍の**圧勝**

- 軍人、民間人合わせて**50万人以上**が死亡(**軍人が二万人程度**)
- イラク側の指導者、**サダム・フセイン**は拘束され裁判後、**処刑**



イラク戦争から「アラブの春」へ

イラク戦争によって、独裁政権から民主化への道を進む

→外国の手によって民主化を目指す、上手くいかず



民主化は自分たちの手で行わなければならない(反面教師)

→非暴力を基本とした「アラブの春」へと繋がる

「アラブの春」の始まり

発端となったのはチュニジアの一人の青年の焼身自殺

→路上販売を取り締まった当局への抗議

イスラム教では自殺は最大の禁忌

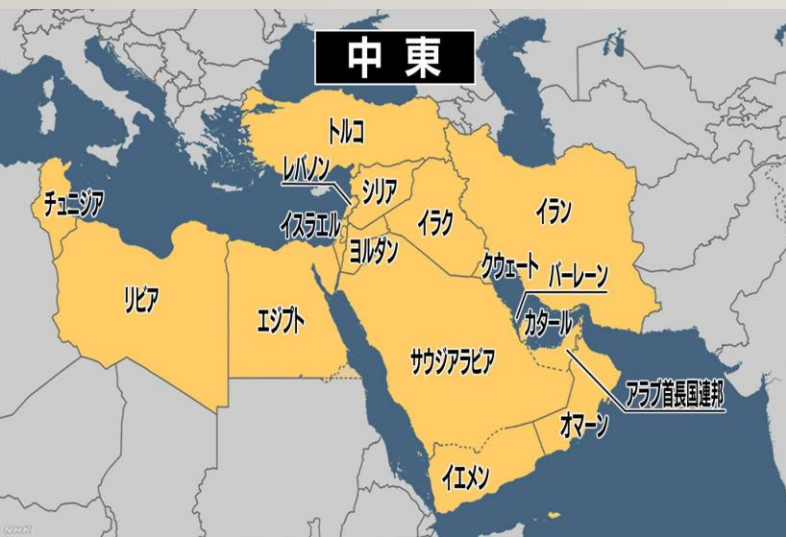
→これによって抑えられていた民衆の不満が爆発



中東や北アフリカの国々で大規模デモが始まる

「アラブの春」とは

- ・ 2010年ごろに中東・北アフリカ地域で起こった民主化運動
- ・ しかし、最初から民主化を目指した運動ではなかった
→ 長期独裁政権を打倒し、自分たちの政府を手に入れる運動



「アラブの春」とは



デモだけでどうやって長期政権を打倒したのか

→この運動を率いていたのが、**教育**を受けていた「**中間層**」

：中間層は、**ある程度の経済力**があり、「**情報手段**」を持つ



ソーシャルネットワーク (SNS)でデモ活動が世界中に拡散

「アラブの春」のその後



退陣した政権や憲法を改正した国々がいくつもあった

→ 平和的に民主化を進めていった

しかし、この運動により内戦状態に入った国もあった

→ シリアでは、**50万人が死亡、550万人が難民状態**



「アラブの春」がもたらした一部には**マイナス面**もあった

まとめ



- イラク戦争によって民衆の不満がデモとなって出現
- 非暴力で始まった「アラブの春」はやがて暴力の連鎖を生んだ
→ 政権転覆は暴動の勃発に直結
- アラブの革命は、長い過程の途中
→ 「アラブの春」後も様々な改革や民衆運動が行われている